

刈谷市非核平和都市宣言（案）
パブリックコメントの結果について

1 実施状況

- (1) 募集期間 令和7年3月1日（土）～令和7年3月30日（日）【30日間】
 (2) 意見の件数 15件（14人）
 (3) 提出方法の内訳 持参：1件（1人）、メール：2件（2人）、ファックス：4件（4人）
 あいち電子申請・届出システム：8件（7人）

2 内容別意見の件数

被爆者の思いについて	1件
宣言の文案について	14件

3 意見と市の考え方

◆被爆者の思いについて

番号	意見	市の考え方
1	私の父は20歳の時、広島で被爆し、すい臓がんで亡くなった。核抑止力では安心安全な暮らしを守ることができないことは明白です。被爆者2世として私を起草委員会に入れてください。	本宣言の制定に向けて、市民の皆様をはじめ様々な立場の方から広く意見をいただくために、パブリックコメントを実施しました。

◆宣言の文案について

番号	意見	市の考え方
2	非核という言葉の定義を明確にし、市民で共有することが大事であると考えます。 例えば、核融合発電など、将来有望な技術用語の一部にも使われているため、核イコール反対ではミスリードする恐れがあるように思います。	「非核」という包含的な表現により本宣言の趣旨が正確に伝えられていなかったため、宣言名を「刈谷市平和都市宣言」と改める一方、宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すという趣旨を明確にしたいと思います。
3	日本は核保有国に囲まれており、世界は軍事力が強い国、特に核保有の有無が国の存亡等に大きく関わっています。そのような状況で、非現実的な宣言は市民や周辺自治体から笑われるのではないのでしょうか？単純に平和を願う、それだけでよいのではないのでしょうか？非核な宣言はぜひやめて欲しいと、一市民として強く思います。	「非核」という包含的な表現により本宣言の趣旨が正確に伝えられていなかったため、宣言名を「刈谷市平和都市宣言」と改めます。 一方、本市はこれまでも原爆パネル展の開催や平和資料の貸出しなどを通じて、市民の皆様は核兵器廃絶と恒久平和への意識が醸成され広がっていくように、平和行政に取り組んできました。 市制施行75年、戦後80年という節目

		<p>の年に本宣言を制定し、あらためて核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを発信することで、市民の皆様に「ふるさと刈谷」への愛着や誇りを持つ機会としていただけるものと考えています。</p>
4	<p>核兵器の使用には誰もが反対するし、多くの人が核兵器の根絶を願っているのは間違いないと思います。ただし、“核兵器を持たないのが平和である”ということにはならないのはウクライナの状態を見ても明らかです。故に、“非核”にフォーカスした平和都市宣言には違和感を覚えます。理由は以下の通りです。(1) 核を持たない日本、ましてや地方自治体が非核を宣言することで、どんなうれしさがあるのか、また、誰(何)をいつまでどのようにしたいのでしょうか。(2) 刈谷市民の大多数が本当に“非核”を望んでいるのでしょうか。また、核武装するしないは自分とは関係ない他人事と捉えている方が多いのではないのでしょうか。</p>	<p>「非核」という包含的な表現により本宣言の趣旨が正確に伝えられていなかったため、宣言名を「刈谷市平和都市宣言」と改める一方、宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すという趣旨を明確にしたいと思います。</p> <p>市制施行75年、戦後80年という節目の年に本宣言を制定し、あらためて核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを発信することで、市民の皆様に「ふるさと刈谷」への愛着や誇りを持つ機会としていただけるものと考えています。</p>
5	<p>「平和の理念を遵守」し、「世界の恒久平和の確立に努める」ことには賛成しますが「非核」という言葉は現状として虚偽であり、現在の世界情勢からして掲げるべき道でもないと考えため一切記載してほしくありません。日本は核保有国であるアメリカと同盟関係にあります。つまりは核の傘の保護下にあるということで、現状その影響力によって国家の安全保障が成り立っているといっても過言ではないと思います。この時点で「非核」は大嘘ではないのでしょうか。核の傘の下から大真面目に「刈谷市は非核都市宣言！」と言っているのを想像するととてもみっともなく恥ずかしいです。核兵器を手放し、軍縮を続けたウクライナがどうなったか世界中が見ています。「非核」も「平和」も行政がわざわざ宣言することで逆に陳腐化するように感じます。</p>	<p>「非核」という包含的な表現により本宣言の趣旨が正確に伝えられていなかったため、宣言名を「刈谷市平和都市宣言」と改めます。</p> <p>一方、本市はこれまでも原爆パネル展の開催や平和資料の貸出しなどを通じて、市民の皆様に核兵器廃絶と恒久平和への意識が醸成され広がっていくように、平和行政に取り組んできました。</p> <p>市制施行75年、戦後80年という節目の年に本宣言を制定し、あらためて核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを発信することで、市民の皆様に「ふるさと刈谷」への愛着や誇りを持つ機会としていただけるものと考えています。</p>
6	<p>核による威嚇を直ちに停止し、対話を通じた信頼関係に基づく安全保障体制の構築に向けて一歩を踏み出すことを強く求める。</p> <p>被爆者を始めとする平和を願う国民の思いをしっかりと受け止め、核保有国と非核保有国との間で現に生じている分断を解消</p>	<p>核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すという本宣言の趣旨から、国の政策等について、本宣言の中で言及することは考えていません。</p> <p>また、宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、本宣言の趣旨を明確にしたいと思</p>

	<p>する橋渡し役を果たしていただきたい。核兵器廃絶に向けた議論の共通基盤の形成に尽力するために、まずは日本政府には核兵器禁止条約への署名・批准を求めるべきである。</p> <p>核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向け、思いを同じくする世界の人々と共に力を尽くすべきである。</p>	<p>ます。</p>
7	<p>市制 75 年及び戦後 80 年の節目の年にこのような「非核平和都市宣言」が行われることは非常に有意義なことだと思います。</p> <p>ただ、この宣言の中にある「願い」だけで終わってはならないと考えます。願いを現実のものとするために、刈谷市、刈谷市民がどう行動するかが大事だと思います。非核平和都市宣言だけで平和を達成できるわけではないので憲法前文にある平和の理念を実践するための具体的項目が付け加えられるといいと思います。</p> <p>(宣言の文案あり)</p>	<p>本宣言は、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すものとして、具体的な取組には言及せず、分かりやすく、広く共有されるものになりたいと考えています。</p>
8	<p>宣言には、核兵器廃絶の願いをハッキリとうたう事が絶対に不可欠です。非核三原則を盛り込むことは当然のこととし、政府に対し「核兵器禁止条約」に署名し、批准することを求めるものとするべきです。</p>	<p>宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すという趣旨を明確にしたいと思います。</p> <p>また、本宣言の趣旨から、国の政策等について、本宣言の中で言及することは考えていません。</p>
9	<p>日本は核兵器による唯一の戦争被爆国であることを明確にすることが大切だと思います。そして核兵器廃絶の先頭に立つことが求められていると思います。ウクライナやガザの悲惨な戦争は、核兵器が戦争の「抑止力」でも「安全の保障」でもなく戦争の手段であることがはっきり示されていると思います。</p> <p>国連憲章にもとづく平和秩序の回復と核兵器禁止条約による核兵器のない世界の実現が求められていると思います。そのことをもっとアピールして頂きたいと思います。</p>	<p>宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すという趣旨を明確にしたいと思います。</p> <p>また、本宣言の趣旨から、国の政策等について、本宣言の中で言及することは考えていません。</p>
10	<p>①宣言のテーマを「刈谷市非核自治体宣言」を望む。</p> <p>②宣言案文は抽象的すぎると思う。核兵</p>	<p>①本宣言は核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すものであるため、宣言名に「平和」という言葉は不可欠であると考えます。また、「非核」</p>

	<p>器が再び使われることのないよう日本政府は「非核三原則」の遵守を書き込むことを望む。</p> <p>③2024年、日本被団協（原水爆被害者団体協議会）のノーベル平和賞受賞を高く評価し、核兵器の使用が脅威であることなどが宣言文に明記されることを望む。</p> <p>④宣言を制定していない市町は残りわずかです。今からつくる刈谷市は、高らかに核兵器廃絶をうたうことです。 （宣言の文案あり）</p>	<p>という包含的な表現により本宣言の趣旨が正確に伝えられていなかったことから、宣言名を「刈谷市平和都市宣言」と改めます。</p> <p>②核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すという本宣言の趣旨から、国の政策等について、本宣言の中で言及することは考えていません。</p> <p>③日本原水爆被害者団体協議会が、長年に渡り核兵器廃絶を世界に訴え、被爆者援護を求める活動を続けていることに心から敬意を表しますが、本宣言は、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すものとして、特定の団体には言及せず、分かりやすく、広く共有されるものにしたいと考えています。</p> <p>④宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、本宣言の趣旨を明確にしたいと思います。</p>
1 1	<p>この素晴らしいふるさとにおいて、こころ豊かに平和な生活を送ることが私たちの願いです。</p> <p>世界で唯一の核被爆国である我が国は、広島、長崎の惨禍を繰り返さないためにも核兵器の廃絶と平和の実現を全世界に訴え続けていかなければなりません。</p> <p>太平洋戦争の開戦にかかわった8本の鉄塔がそびえ立つ米軍依佐美基地があったことを忘れず、二度と戦争の惨禍を繰り返さない誓い、核兵器を持たず、作らず、持ち込ませずとする非核三原則の堅持と核兵器の廃絶を求めます。</p> <p>（宣言の文案より抜粋）</p>	<p>宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すという趣旨を明確にしたいと思います。</p> <p>依佐美送信所は産業遺産として後世に伝えていかなければならないものと認識していますが、本宣言は、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すものとして、特定の施設には言及せず、分かりやすく、広く共有されるものにしたいと考えています。</p> <p>また、本宣言の趣旨から、国の政策等について、本宣言の中で言及することは考えていません。</p>
1 2	<p>県下で宣言していない自治体が僅かということはありますが、このタイミングで表明して頂いたことに市民として大変うれしい思いです。</p> <p>補強意見を記します。</p> <p>①核兵器の使用に言及する紛争がウクライナ戦争やイスラエルのガザ攻撃でも出されるようになっていきます。核抑止論の破綻と実際に使われる危険性に警鐘を鳴らさな</p>	<p>①本宣言は核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すものとして、具体的な情勢には言及せず、時代を超えた普遍性を有した、広く共有されるものにしたいと考えています。</p> <p>②宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指すという本市の思いを示す趣旨</p>

	<p>いとけません。</p> <p>②唯一の戦争被爆国として、非人道的な兵器である核兵器の廃絶を目指さないといけません。</p> <p>③非核3原則は、現在も堅持しないといけません。</p> <p>(宣言の文案あり)</p>	<p>を明確にしたいと思います。</p> <p>③宣言の趣旨から、国の政策等について、本宣言の中で言及することは考えていません。</p>
1 3	<p>刈谷市が非核平和宣言都市宣言をすることを嬉しく賛同しています。</p> <p>しかし、案の中に重要な言葉がありません。平和恒久を永久に目指すために、絶対に核を持たない、認めない、非核を入れてください。重要なことです。</p>	<p>宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すという趣旨を明確にしたいと思います。</p> <p>一方、「非核」という包含的な表現により本宣言の趣旨が正確に伝えられていなかったため、宣言名を「刈谷市平和都市宣言」と改めます。</p>
1 4	<p>遅かったと言わざるを得ませんが、非核平和都市宣言をされることは大変良いことだと思います。</p> <p>しかし宣言案には、非核の決意につながる文言や文章が無いため、核兵器廃絶の思いが伝わってきません。</p> <p>日本被団協のノーベル平和賞受賞時の演説や被爆された方々の証言、広島・長崎の毎年の平和宣言など、当事者の訴えに耳を傾け、宣言文を練り直してください。</p> <p>核兵器と戦争のない平和な世界を築くことの大切さが、次世代への伝えていける宣言文になることを願っています。</p>	<p>宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すという趣旨を明確にしたいと思います。</p> <p>一方、「非核」という包含的な表現により本宣言の趣旨が正確に伝えられていなかったため、宣言名を「刈谷市平和都市宣言」と改めます。</p> <p>また、本宣言の制定に向けて、市民の皆様をはじめ様々な立場の方から広く意見をいただくために、パブリックコメントを実施しました。</p>
1 5	<p>被爆者の思いが伝わるような宣言文にして下さい。</p>	<p>宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すという趣旨を明確にしたいと思います。</p>

※ 一部の意見は抜粋して掲載しています。